

2009年度決算及び2010年度業績見通し



セブン銀行

2010年5月

決算ハイライト	1頁	新サービスの進捗	8頁
損益状況	2頁	第3世代ATMへの更新と効果・影響	9頁
ATM台数の推移	3頁	資本政策	10頁
利用件数とATM受入手数料単価	4頁	資金調達	11頁
中期計画のポイント	5頁	財務状況	12頁
ATM事業の更なる強化	6頁	参考資料	13頁～23頁
新事業の創出	7頁		

本資料には、株式会社セブン銀行の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しています。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他ATM事業及び金融サービス事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。

決算ハイライト

主な収益環境の変化

【 2009年度決算 】

- ◆ 経常利益(304億円)、当期純利益(179億円)とも最高益
- ◆ 期末配当は1株あたり2,750円(年間5,200円[前期4,900円])を予定

- ①経済条件の戦略的見直し
- ②貸金業カードの利用不振
※貸金業法改正(2010年6月~完全施行予定)の影響

【 2010年度計画 】

- ◆ ATM事業のさらなる強化、ノウハウ・インフラ活用による新事業の創出に注力
- ◆ 2009年度の減収要因の影響継続及び先行投資の増加により減収減益を見込む

- ①減収影響額は前期より拡大
- ②不振続き、回復は見込めず
- ③ローンサービスや海外送金サービス、第3世代ATM導入等次なる成長のための投資・経費増

【 2011年度以降 】

- ◆ 2010年度でマイナス要因出尽くし、再び増益基調へ

- ・ATM受入手数料単価の低下要因は一巡
- ・台数・件数増のメリットを享受

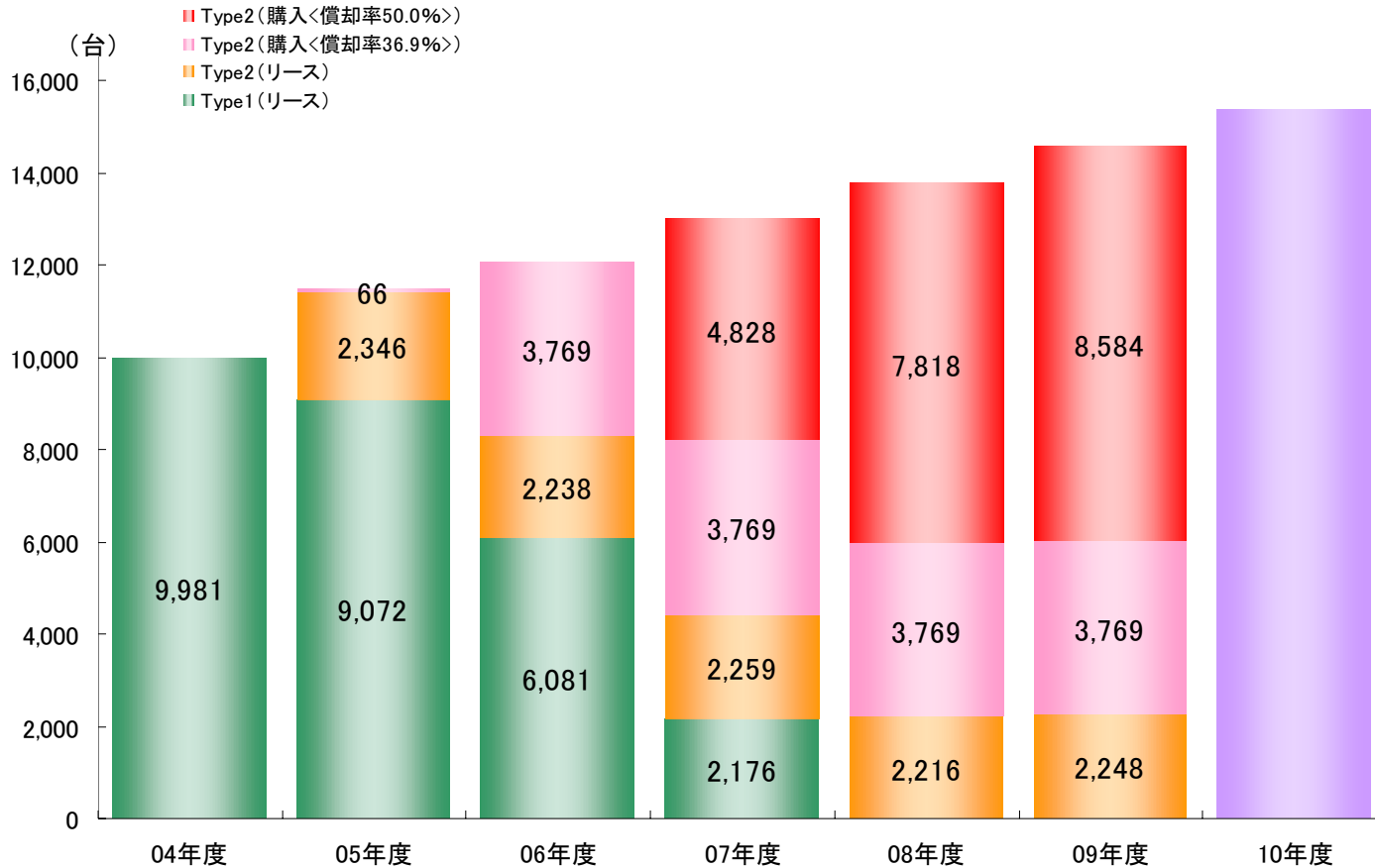
損益状況

(単位: 億円)

	2008年度	2009年度				2010年度計画			
	実績	期初計画 (09年5月)	修正計画 (09年11月)	修正計画 (10年1月)	実績	前年差異 (増減率(%))	通期	前年差異 (増減率(%))	上期
経常収益	898	915	871	880	888	△ 9 (△ 1.0)	869	△ 19 (△ 2.1)	438
うちATM受入手数料	855	876	836	—	852	△ 2 (△ 0.3)	833	△ 19 (△ 2.3)	421
経常費用	610	611	596	—	584	△ 26 (△ 4.3)	594	+9 (+1.6)	291
うち資金調達費用	27	25	—	—	21	△ 5 (△ 21.1)	20	△ 1 (△ 8.0)	10
うちATM設置支払手数料	85	92	89	—	90	+4 (+5.4)	96	+5 (+6.6)	47
うち業務委託費	139	142	141	—	139	+0 (+0.3)	145	+5 (+3.7)	73
うち保守管理費	35	39	38	—	35	+0 (+1.5)	42	+6 (+17.6)	18
うち土地建物機械賃借料	28	24	24	—	24	△ 4 (△ 14.3)	22	△ 2 (△ 11.0)	11
うち減価償却費	154	130	129	—	128	△ 25 (△ 16.5)	123	△ 5 (△ 4.2)	56
経常利益	287	303	274	295	304	+16 (+5.7)	274	△ 30 (△ 9.8)	147
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	—	△ 1	△ 0 (—)	△ 0	+0 (—)	0
法人税等合計	117	123	111	—	123	+6 (+5.1)	111	△ 12 (△ 10.1)	59
当期純利益	169	180	162	174	179	+9 (+5.6)	162	△ 17 (△ 9.7)	87
期末ATM設置台数(台)	13,803	約14,550	同左	同左	14,601	+798 (+5.7)	約15,400	+800 (—)	約14,920
ATM受入手数料単価(円)	158.0	148.5	147.4	—	147.9	△ 10.1 (△ 6.3)	137.0	△ 10.9 (△ 7.3)	138.2
平均利用件数(件/台/日)	114.3	116.6	113.4	114.0	114.4	+0.1 (+0.0)	116.6	+2.2 (+1.9)	118.0
総利用件数(百万件)	555	602	586	588	590	+34 (+6.2)	635	+44 (+7.5)	318

注 計数は全て単位未満切捨て
 なお、前年差異は百万円単位(総利用件数は千件単位)で比較し、単位未満切捨て
 修正計画の「—」は非開示

タイプ別ATM台数



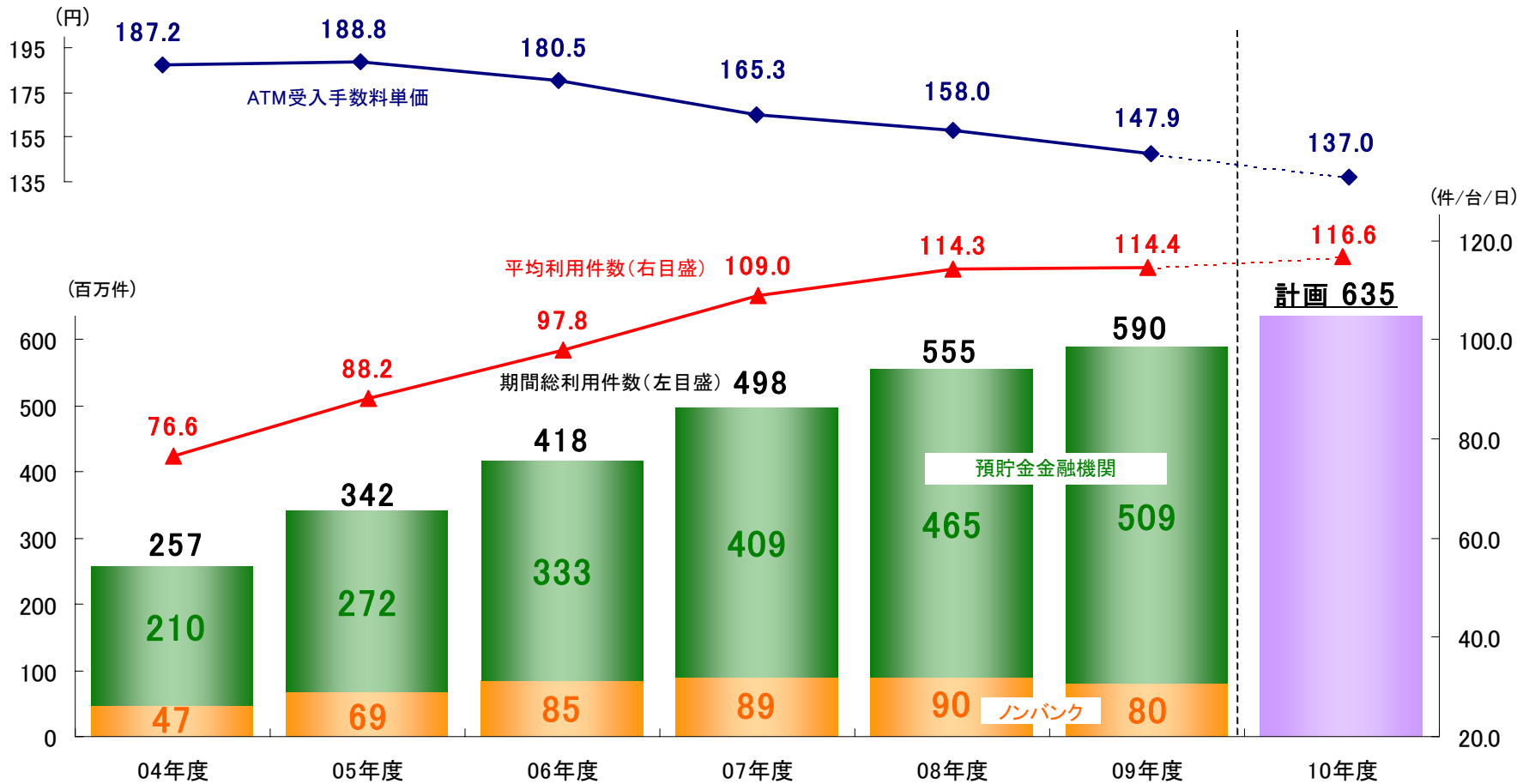
年度別純増台数

(単位:台)

	09年度	10年度
合計	798	約800
7&iグループ内	664	約500
SEJ新規	448	
SEJ2台目	192	
その他	24	
7&iグループ外	156	約300
空港	8	
ホテル	3	
駅・交通系	37	
商業施設	92	
企業内	14	
病院	2	
金融機関	△22	

ATM台数	9,981	11,484	12,088	13,032	13,803	14,601	約15,400
純増台数	+2,177	+1,503	+604	+944	+771	+798	+約800

利用件数とATM受入手数料単価



種別	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度
預貯金金融機関	81.7%	79.6%	79.7%	81.9%	83.7%	86.3%	
ノンバンク	18.2%	20.3%	20.2%	18.0%	16.2%	13.6%	

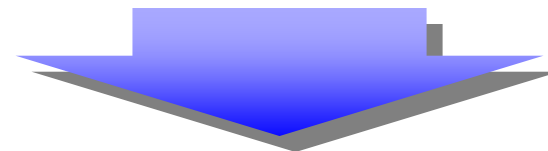
注1 平均利用件数、総利用件数には残高照会、電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更を含まず
 注2 期間総利用件数は単位未満切捨て、平均利用件数、ATM受入手数料単価、取引件数構成比は小数点第2位以下切捨て
 注3 ATM受入手数料単価は、ATM受入手数料÷(総利用件数-ATM受入手数料収入を伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出
 注4 本資料におけるノンバンクは、証券会社、生命保険会社、その他金融機関の合計

ATM事業の更なる強化

ノウハウ・インフラを活用した
新事業の創出

持続的な成長

厚みのある収益構造の確立



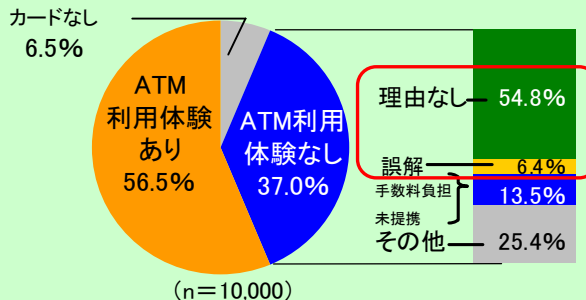
- ◆2012年度末 ATM台数17,000台(うち7 & iグループ外1,700台)
- ◆2010年度は減収減益となるが、翌2011年度には2009年度の利益水準を回復し、増収増益基調へ。

認知向上

- ・ ATM設置場所での告知強化
- ・ 提携先との告知協働

セブン-イレブン来店客の約4割が当社ATM利用未体験(2009年11月当社調査)

開拓余地大



効果的な告知でさらなるユーザーの獲得を目指す

注) 誤解とは、手数料無料で使えるにもかかわらず手数料負担があると思っている、又は実際は提携しており利用可能であるが未提携のため利用できないと思っているケースを指す

設置推進

- ・ 設置場所開拓推進体制の強化
 - ◆ 金融機関、警備会社、デベロッパー等との連携強化
- ・ 金融機関からの受託・肩代わり本格展開
- ・ 新設置形態
 - ◆ セブン-イレブンや金融機関の閉店跡地に独自出店

- ◆ 当社の効率的・高品質なオペレーションノウハウ、多くの提携先と接続するATMネットワークと決済機能を活用した新事業の創出

ローンサービス

海外送金サービス

事務受託
例) 不審取引検知 等

海外展開の検討

等

ローンサービス(2010年1月25日開始)

◆ 厳格な審査で臨むもまずまずの立ち上がり

- ・2010年1～3月件数 : 約2,700件
- ・2010年3月末残高 : 1.2億円

◆ 利用状況を見極め、貸出上限(現状100千円)の将来的な引上げを検討

◆ ローンサービス開始を機に、口座開設件数が増加し、資金調達面でも貢献

貸金業法改正後の個人ローン
マーケットを見ながら、慎重かつ
堅実な拡大を目指す

海外送金サービス(2010年度開始予定)

外国人労働者等の本国への仕送りニーズ

留学中の家族、友人等への日本人の送金ニーズ

国内既存マーケット(概算・推計)

- ・送金額 : 0.7兆円～1兆円
- ・平均送金額 : 70千円
- ・送金件数 : 10百万件/年

当面はマーケットシェア1割獲得を目指す

当社サービスの特徴

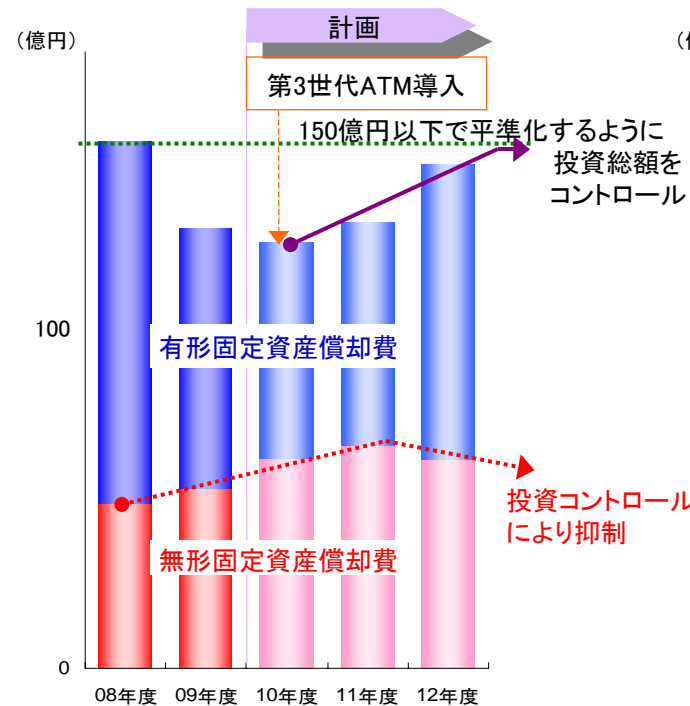
1. 原則24時間365日送金可能
2. 全国14,600台以上のATMで送金可
3. 安価な手数料
4. 受取人は銀行口座なしで受取可
5. 当社口座開設と受取人の事前登録が必要(不正送金を排除するため)

注)ATMでのサービス取扱い開始は2011年度を予定

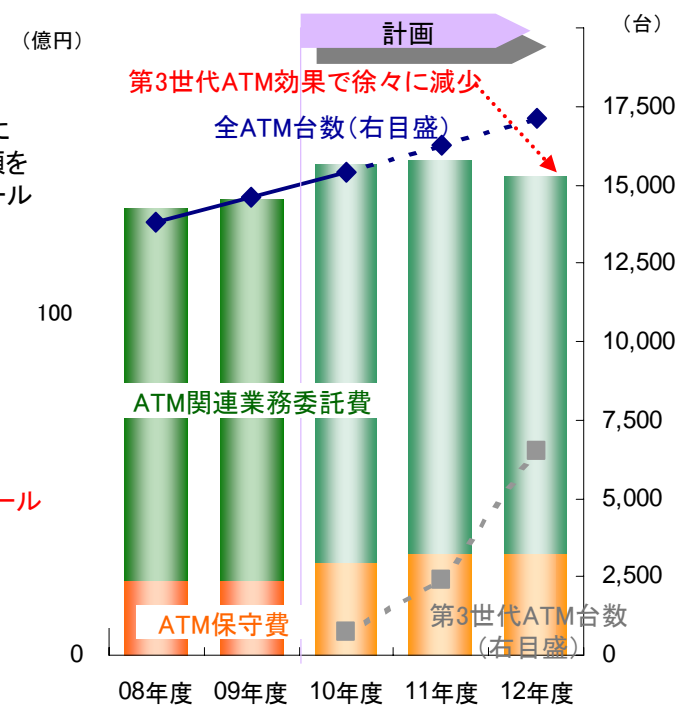
◆着実な利益成長実現のため、経費抑制効果の大きい第3世代ATM導入開始

◆第3世代ATM導入にあたっては、新サービスのための投資分も含め、減価償却費が平準化するよう投資総額をコントロール

減価償却費の見通し



業務委託費と保守費の見通し



第3世代ATMの特色

- ①現金効率の向上
 - ・現金交換回数を減らして業務委託費抑制
- ②保守回数の減少
 - ・部品の長寿命化で保守管理費抑制
- ③スピードアップ
 - ・処理速度向上でお客さま満足向上
- ④省エネ化
 - ・従来機に比べ消費電力量抑制

10年度下期から段階的に導入開始

配当政策

- ◆ 安定配当の実現に努力 配当性向は最低35%を維持
- ◆ 残りは運転資金に活用するほか、成長投資への備えとする

運転資金

▶ ATM現金の運用利回り：9.0%（2009年度実績）

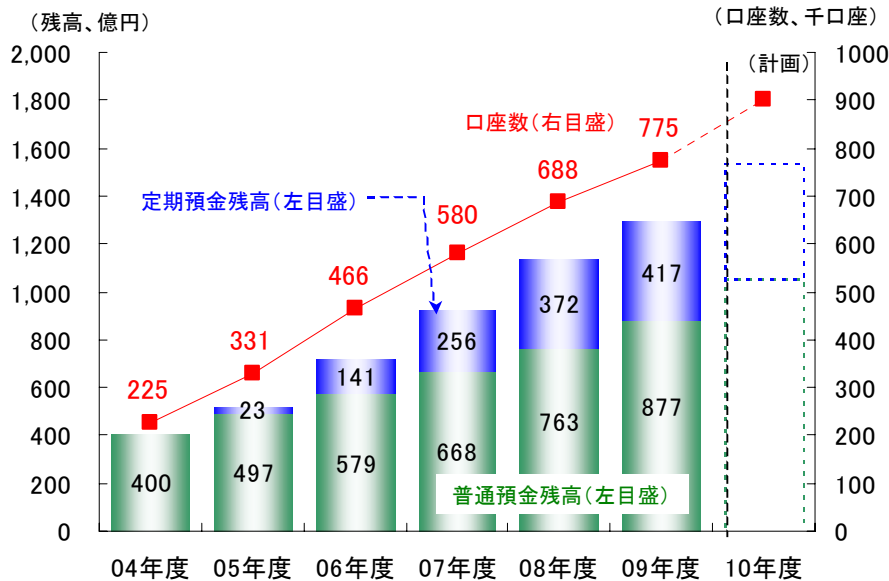
注) ATM現金の運用利回り=ATM手数料純益(ATM受入手数料-資金調達費用-ATM設置支払い手数料-営業経費)÷現金預け金(平均残高)

2010年度は減収減益を予想しているが、安定配当の観点から
年間配当5,200円(中間・期末各2,600円)を予定

基本スタンス

- ◆ 安定的に増加する個人預金が資金調達のベース
- ◆ 社債等の長期資金と短期資金の組み合わせにより機動的・効率的な資金調達を実施

セブン銀行口座(個人)の状況



長期性資金の償還、返済時期・金額

(単位: 億円)

		社債	借入金	合計
09年度	上期	—	250	250
	下期	—	190	190
10年度	上期	—	—	—
	下期	—	120	120
11年度	上期	—	—	—
	下期	360	—	360
12年度	上期	100	—	100
	下期	—	—	—
13年度以降		440	190	630

財務状況(2010年3月末貸借対照表)

ATM装填用現金、台数増加に伴い増加

主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として必要な有価証券

(ATM仮払金)
提携先のお客さまの出金取引時に提携先に代り資金をお支払いすることにより一時的に発生するもの(翌営業日に資金決済。期末日が休業日の場合は、決済ができないことから増加)
なお、ノンバンク分は当社法人口座で当日中に決済するため、原則として、B/Sに残高が残ることはない

主にATM

ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定

貸出金 1

繰延税金資産 12
貸倒引当金 Δ1

現金預け金	2,941(+ 136)
コールローン	200(Δ 90)
有価証券	894(+ 5)
ATM仮払金等	700(+ 71)
有形固定資産	112(Δ 47)
無形固定資産	166(+ 18)

資産 5,027
(+ 94)

(単位:億円)

預金(個人)	1,295(+ 159)
預金(法人)	791(+ 46)
譲渡性預金	103(Δ 309)
コールマネー	133(+ 133)
借入金	310(Δ 380)
社債	900(+ 300)
ATM仮受金等	392(+ 28)
資本金	305(+ 0)
資本剰余金	317(+ 0)
利益剰余金	476(+ 115)

その他有価証券評価差額金 Δ0.0
新株予約権 0.8

負債+純資産 5,027
(+ 94)

流動性預金: 1,449億円
定期性預金: 633億円

2回債(06年発行)360億円(5年)
3回債(06年発行)240億円(7年)
4回債(09年発行)100億円(3年)
5回債(09年発行)200億円(5年)

(ATM仮受金)
提携先のお客さまの入金取引時に提携先に代り一時的にお預かりするもの

負債
3,928
(Δ 21)

賞与
引当金 2
純資産
1,099
(+ 115)

単体自己資本比率(国内基準)
49.58%(速報値)

格付(10年3月末現在)

スタンダード&プアーズ
(長期カウンターパーティー格付)
AA-

格付投資情報センター
(発行体格付)
AA

注 ()は09年3月末との比較。百万円単位で比較し、単位未満切捨て

參考資料

基本情報 本社所在地 東京都千代田区丸の内1-6-1
 主要業務 ATM事業／金融サービス事業

主要データ 純資産額 1,099 億円
 (2010年3月末) 資本金 305 億円
 ATM台数 14,601 台
 有人店舗 6 店
 従業員 329 人

設立のコンセプト **みんなのATM**

いつでも 24時間365日
どこでも 日本全国
だれでも 国内約560の提携金融機関
 海外発行カード
安心して 衆人環視、高セキュリティ

沿革 2001年 4月 アイワイバンク銀行設立
 2005年10月 セブン銀行に社名変更
 2008年 2月 ジャスダック証券取引所上場

主要株主(2010年3月末)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
(株)セブン-イレブン・ジャパン	353,639	28.98
(株)イトーヨーカ堂	146,961	12.04
(株)ヨークベニマル	52,400	4.29
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	46,246	3.79
(株)ライフフーズ	30,000	2.45
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	25,617	2.09
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー	23,684	1.94
サジャツプ	17,897	1.46
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	16,102	1.31
(株)三井住友銀行	15,000	1.22
第一生命保険相互会社	15,000	1.22

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
7&i HD関連企業	583,000	47.78
金融機関	169,929	13.92
金融商品取引業者	14,586	1.19
その他法人	76,352	6.25
外国法人等	255,095	20.90
個人・その他	121,065	9.92

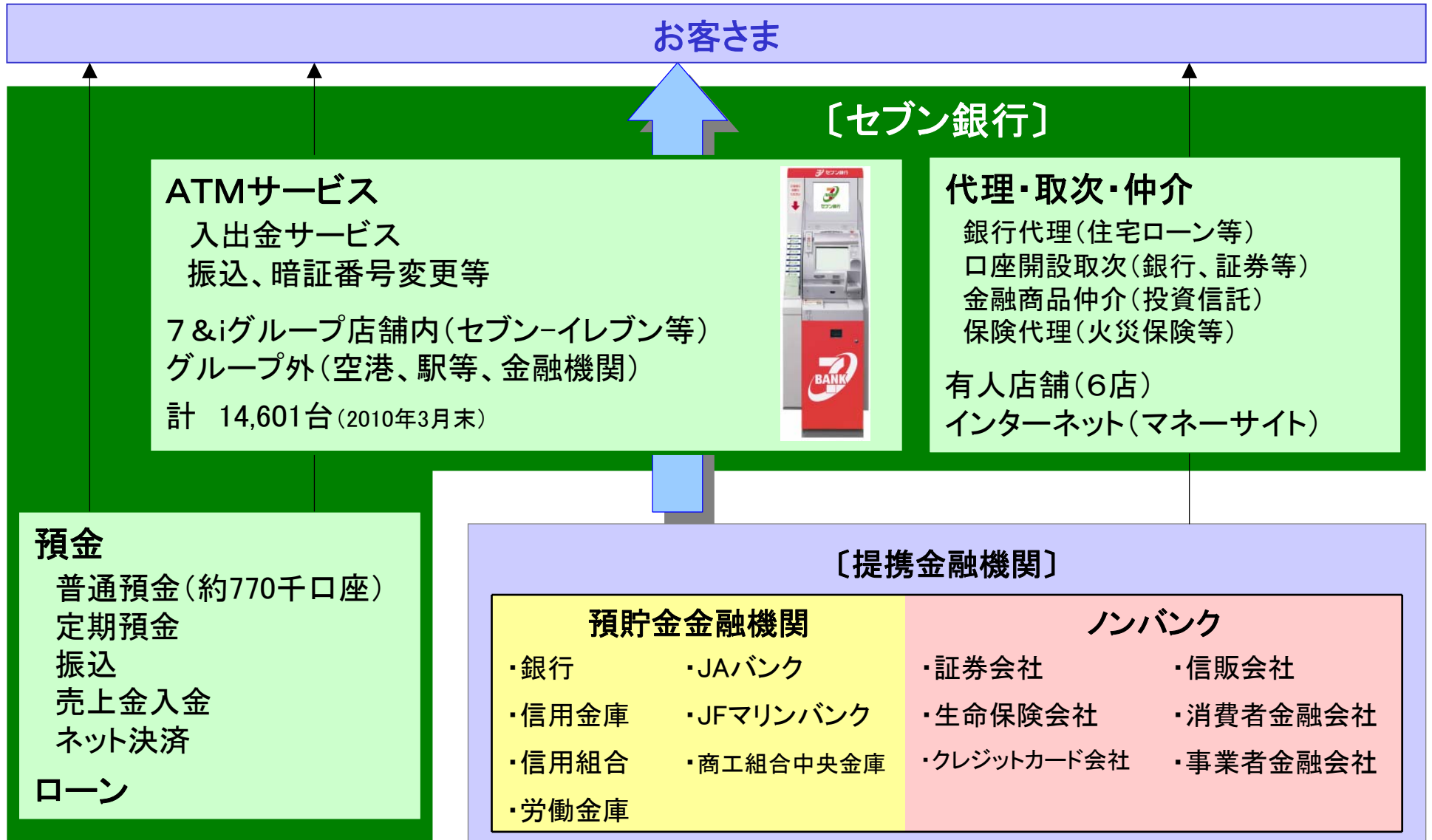
注1 持株比率は小数点第3位以下切捨て
 注2 橙色の網掛けは7&i HD関連企業
 注3 その他法人には7&i HD関連企業含まず

損益の推移(設立来)

単位: 億円

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
経常収益	19	115	291	479	646	754	836	898	888
うちATM受入手数料	18	113	289	458	619	731	801	855	852
経常費用	140	197	260	378	452	504	590	610	584
うち資金調達費用	0	0	0	4	6	15	27	27	21
うちATM設置支払手数料	3	11	22	35	45	61	77	85	90
うち業務委託費	51	70	85	120	144	137	137	139	139
うち保守管理費	3	8	11	30	25	29	34	35	35
うち土地建物機械賃借料	20	34	46	63	75	67	47	28	24
うち減価償却費	16	26	31	35	43	54	114	154	128
経常利益	△ 121	△ 81	30	100	194	250	246	287	304
特別損益	0	0	△ 1	△ 1	△ 28	△ 40	△ 13	△ 0	△ 1
法人税等合計	0	0	△ 21	△ 9	60	83	95	117	123
当期純利益	△ 121	△ 81	50	108	105	126	138	169	179

注 単位未満切捨て



1. 個人情報を守るデザイン

テンキー: 入力暗証番号が掌で隠れる
操作画面: 斜め後ろから取引内容が見えない

2. 高度な防犯機能

暴力的な強奪にインクで紙幣を染める
取引時の写真を撮影するカメラ
電文を盗聴からまもるトリプルDES暗号

3. ICカード利用可能

4. 暗証番号変更・利用限度額変更

5. 画面を利用した広告・警告

6. 提携金融機関ごとの画面表示

カードを挿入するだけでお客さまが見慣れた各提携銀行のATMと同様のオリジナル画面を表示



7. 電子マネーへの入金



(nanacoカード)

8. 海外カードを利用可能

海外発行のキャッシュカードやクレジットカードで円の引出しが可能

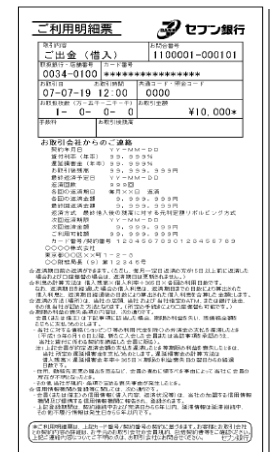


9. 視覚障がい者も利用可能

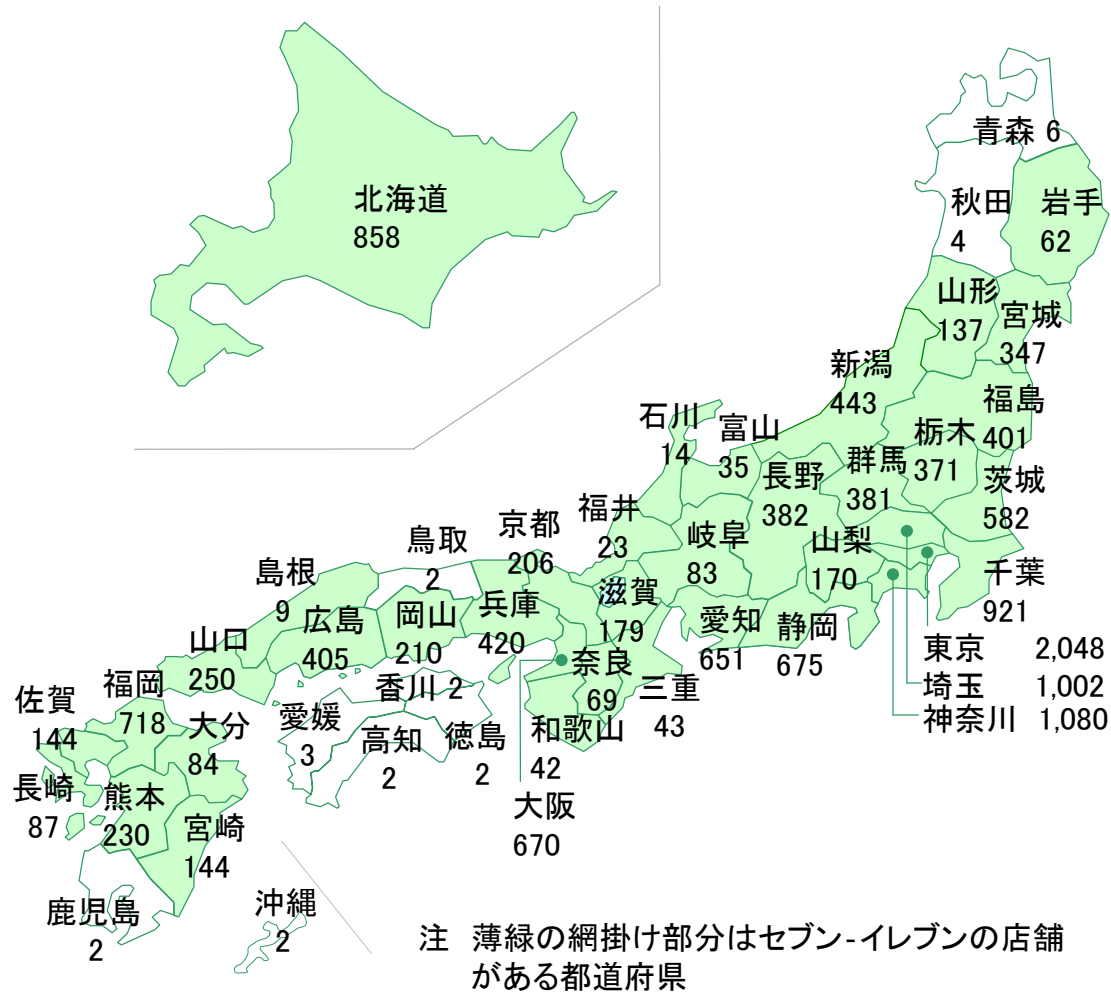
音声ガイダンスに従ってインターホンで操作できる機能を装備

10. 貸金業法定書面を印字可能

提携先に代わって貸金業法で求められる書面を印字可能



都道府県別ATM台数(2010年3月末現在)



A銀行のお客さま

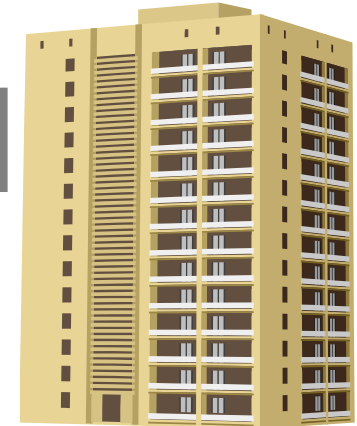


A銀行画面



ATM受入手数料

A銀行



ATM利用手数料
(口座保有銀行が決定)

お客さま(利用者)のメリット

- 時間・場所の利便性
24時間365日営業するコンビニ店舗内等
全国的なネットワーク、ほとんどのカードが使える
使い慣れたいつもの画面
- 安心・安全

ATM提携金融機関のメリット

- 自行ATMと同様に活用可
ATM利用手数料はそれぞれの銀行戦略で決定可
自行優遇制度の一環として活用可
自行ATM同様の画面等を提供
- ATMネットワークのバックアップとして活用可
- ATMの維持メンテナンス・資金調達コスト削減

交通系	商業施設	その他	
			
<p>【空港】成田空港第1ビル (制限エリア)</p>	<p>【空港】関西国際空港 (出発ロビー)</p>	<p>【家電量販店】 ヨドバシAKIBA</p>	<p>【証券会社】 野村證券(一括受託)</p>
			
<p>【JR】東京駅一番街 (1階)</p>	<p>【地下鉄】東京メトロ副都心線 新宿三丁目駅</p>	<p>【ディスカウントストア】 ミスターマックス千葉美浜店</p>	<p>【共同ATMコーナー】 新生銀行ATMコーナー</p>
			
<p>【私鉄】東京モノレール 浜松町駅</p>	<p>【高速道】高坂 サービスエリア</p>	<p>【ショッピングセンター】 アルカキット錦糸町</p>	<p>【大学】東海学園大学</p>

提携先の推移

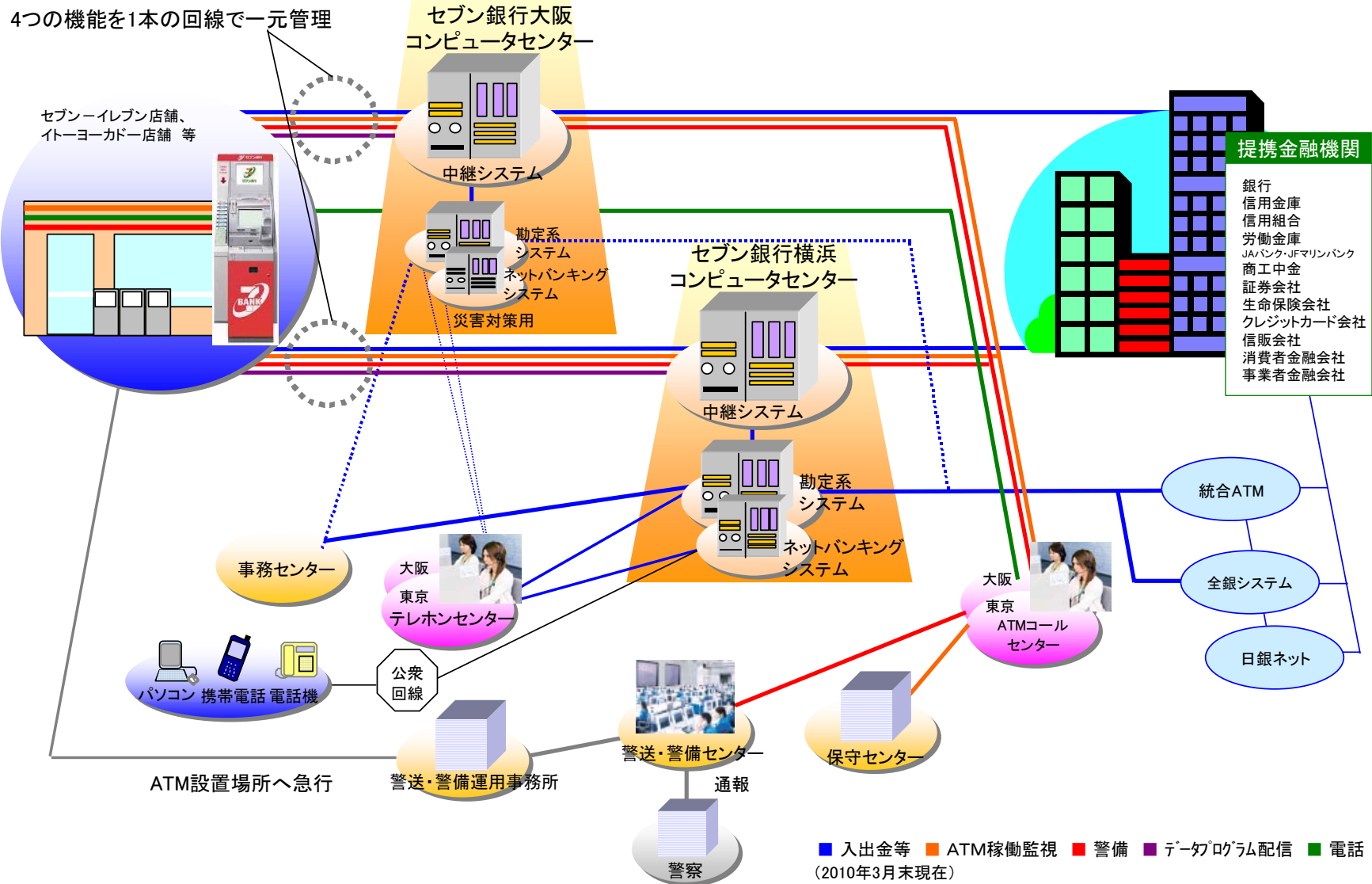
	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
銀行計	7	15	27	50	63	80	92	95	97
都市銀行	3	5	5	5	4	5	5	5	5
地方銀行	3	9	19	41	54	69	76	77	79
その他	1	1	3	4	5	6	11	13	13
信用金庫	-	-	240	241	255	263	260	264	258
信用組合	-	-	-	117	122	124	122	127	127
労働金庫	-	-	-	13	13	13	13	13	13
JAバンク	-	-	-	-	1	1	1	1	1
JFマリンバンク	-	-	-	-	1	1	1	1	1
商工中金	-	-	-	-	-	-	-	-	1
証券会社	2	2	2	2	5	8	8	8	8
生命保険会社	-	4	5	5	6	8	8	8	8
その他金融機関 <small>(消費者金融、クレジットカード会社等)</small>	-	27	35	41	47	50	49	49	41
合計	9社	48社	309社	469社	513社	548社	554社	566社	555社

注1 「セブン銀行」は提携先数には含まず

注2 07年10月に民営・分社化したゆうちょ銀行は、銀行のうち「その他」に含む

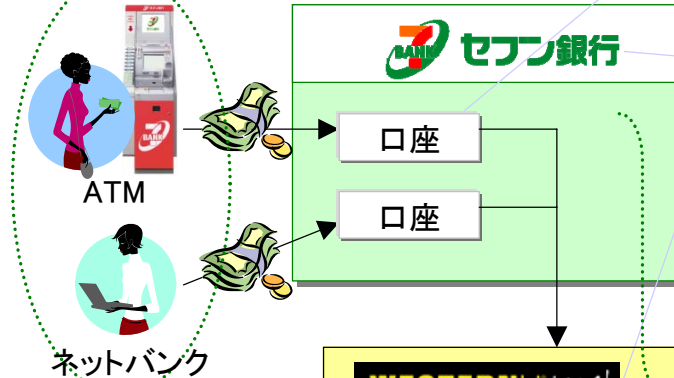
注3 JAバンク、JFマリンバンクは各々業態として1つとしている

4つの機能を1本の回線で一元管理



ATM約14,600台
ネットバンクも対応
⇒24時間どこでも送金可

- ・口座開設時に厳格な本人確認実施
- ・受取人も事前登録
- ・土日、深夜も送金可
- ・ATMは日本各地のセブン-イレブン・野村證券等があり、地方でも気軽に利用可能



口座での不正チェックを徹底

- ・疑わしい取引等の厳格なチェックを実施。発見した場合は、迅速に当局に報告。

財務健全性

- ・サービス運営を支える財務健全性

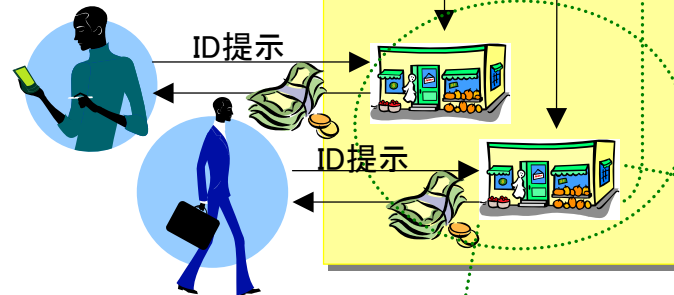
セブン銀行 AA-(S&P)
ウエスタンユニオン A-(S&P)

最短数分で送金完了(受取可)

- ・送金完了後、最短数分以内に受取が可能

送金手数料:未定

- ・競争力ある水準を検討中
- ・お客さまの手数料負担感を軽減し、手軽な送金チャネルとしてのポジション確立を目指す



世界約200の国と地域の約40万の代理店で受取可

- ・不正送金リスクの高い国を除き、ほぼ世界中の国と地域に送金可能

受取りに口座不要

- ・現地法制で認められた身分証明書で本人確認等を行い、現金で払い出すので、口座不要

社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

倫理憲章

＝ 当社が遵守すべき倫理上の規範、経営判断に際し常に拠り所となるもの

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

コンプライアンス遵守基準

1. ルールは守る。
2. 約束を守る。
3. 嘘はつかない。
4. 事実は隠さない。
5. 機密は守る。
6. 迷惑はかけない。
7. 公私混同しない。
8. 不正は許さない。
9. サービス業の原点を忘れない。
10. 自らの言動に責任をもつ。